Governor's Monthly Letter

Rotary International District 2800

2019-2020

ガバナー月信

5

基本理念

元気なクラブづくりのために
「ロータリーの木」の苗木を植えましょう
クラブに、地域社会に、世界に、次世代の為に

教育資料館（山形市）

（絵）上野 啓太

CONTENTS

- ガバナーメッセージ
- ガバナーエレクトメッセージ
- エレクト年度の現況・事務方として留意したこと
- 地区ＲＡ代表年度に向けて
- 新しい例会のカタチ・読書の推進により愛と善意の心を育む
- 新型コロナウイルスとの闘いにおけるロータリーの役割
- 新型コロナウイルス対応のための補助金使用について・オンラインミーティングのご紹介
- 青少年交換学生マンスリーレポート
- 2019－2020年度クラブ会員数・出席率一覧
- 訃報／文庫通信／お知らせ
- ５月の地区スケジュール

国際ロータリー第2800地区 2019-2020年度

カバナー 大久保章宏｜地区幹事 鈴木政康｜地区資金委員長 菊川 明

RI会長 マーク・ダニエル・マローニー｜RI理事 三木 明

新型コロナウイルスに負けるな

CONVID-19感染拡大と「つながり」を考える

国際ロータリー 2019-2020年度
第2800地区ガバナー
大久保 章宏

新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めが掛からず、４月７日緊急事態宣言が７都府県に発令されました。期間は５月６日迄の１ヶ月に渡る外出自粛要請です。緊急事態宣言により、街の中は大きく変わりました。山形県も当初感染者「０」で推移していましたが、首都圏からの来県者、帰省者との接触により感染が拡大し、日に日に感染者数も増えて来ました。県外との接触を出来るだけ避けるようにと県は呼びかけ、人の動きが止まり始めました。新幹線、飛行機、バス、ホテル等の利用者数は激減しています。夜の街も人通りが無く一見するとゴーストタウンの様子が伺えます。この外出自粛を、我々県民は真剣に考え、各自が真摯に取り組むこと、各自が身の安全を考えることが必要です。是非真剣にお考え下さい。お願いします。

当2800地区では、危機管理委員会の決定により、５月末までのロータリー行事が全て「中止」「延期」となりました。しかしながら感染は拡大し、徐々に山形県でもコロナの影響が大きくなり始めています。一番大切な事は、ロータリアンの安全を確保することです。そしてロータリーファミリーの安全も確保することが最も大切な事です。青少年交換プログラムにおきましても、安全を考慮し「帰国指示」を出しました。全国では多くの青少年交換学生は帰国されました。2800地区では親権者、相手国等の意向により滞在希望の交換学生はRIJYEMの指針により、自己責任において滞在する旨の誓約書をロータリーと交わしていただききました。また、この状況下での次年度の青少年交換プログラムは行われるのか、大きな問題となっています。もう既に今年の８月に渡航する学生のオリエンテーションは１年間行われてきました。しかし渡航に対して安全が確保できるか大きな課題で、RIJYEMより、次年度のプログラムに付きまして５月末日までに、渡航危険レベルが１に戻らない場合は「中止」とする指針が発表されました。2800地区では、国内外の情勢を鑑み残念ながら次年度の交換は「中止」とすることにいたしました。

多くのクラブの周年式典、IM等も中止となり、ロータリー活動が分断されています。各クラブの例会も大半が休会の状況で、例会出席も出来ず、ロータリー活動も出来ずにいます。ロータリーで最も大切な「つながり」を持つことが出来ない状況です。人との接触を避けることを奨励されています。新型コロナウイルスの影響は甚大です。今後どの様に変化するか予測がつきません。人の動きが止まり、物の動きも鈍くなり、在宅勤務が当たり前の様になり、学校にも行けない状況が続いています。さて、新型コロナウイルスが終息した後は、どのような生活環境になるのか不安が残ります。

マーク・ダニエル・マローニーRI会長は、「私たちは互いにまた地域社会とのつながり、同じクラブの会員だけでは無く私たち全員が属する世界的コミュニティーの人々とつながっています。世界がかつてないほど分断されている今日、私たち全員をつなぐのはロータリーです。比類のない基盤を有するロータリーを通じて私たちは、人類の素晴らしい多様性とつながり、共通の目的を追求しながら末永く深い絆をつくり出します。」と、2019年１月の国際協議会でスピーチされています。皆様方もう一度公式訪問の時のメッセージ動画を思い出してください。ロータリーは比類のない基盤を有しています。この様な時だからこそ、

ロータリーの「つながり」が最も大切なのではないでしょうか。この危機的状況を全会員と共に乗り越え、コロナ終息後、皆さんと共に「つながり」を大切に、ロータリー活動につなげて行こうではありませんか。「つながり」が無ければ終息後も集まる事が無くなってしまいます。良い結果は生まれません。ロータリーは偉大です。率先して「つながり」を大切にしましょう。

会合型の例会が開催出来ない状況の中で、「つながり」を維持するために多くの方法が国際ロータリーより提示されています。ロータリーは１世紀以上にわたり、親睦と奉仕を通じて世界を結び付けて来ました。新型コロナウイルスの流行により私たちの日常生活が変わり、例会が中止となる事が発生しました。しかし行動が制限されても、会員同士の連絡は出来ます。「つながる」ことは出来るのです。

提案されています内容は、Zoom、スカイプ、GoToMeeting等のオンラインツールを利用し例会を行うことが出来ます。顔を合わせての会合が規制されている時だからこそ、この様なオンラインツールを利用し、会員同士が「つながる」ことにチャレンジする必要があるのでは無いでしょうか。さまざまな面でロータリーは現在My ROTARYの活用を呼び掛けています。全34地区内で、My ROTARYの登録率では、残念ながら2800地区は最下位に近い下位グループです。この登録率もオンラインツールの活用を促進できない一つの指標と考えられます。会員皆様方、携帯電話を使用している事と思います。すなわちオンラインされているのです。是非、この様な時だからこそオンラインの活用を推進してください。お願いします。現在RACでは、会長幹事会のオンライン会議を実施する方向で進めて頂いています。その状況の報告を月信に掲載します。是非ロータリアンもチャレンジしてください。

クラブの活動をもう一度見直してください。例会が出来ない、ロータリー活動が出来ない今の状況。社会が自粛要請を受けて活動を停止しています。ロータリアン皆様方の生活の基盤である職業が成り立たなくなる事態に陥っています。「こんな時ロータリーではない」などの声もお聞きします。当然生活基盤が第一優先です。その職業に活動の中にロータリー活動があります。会員皆様方が各企業、各仕事において大変な状況に直面しています。是非一度クラブの内容、例会の持ち方、会費の考え方、奉仕活動など考えてみることも大切と思います。場合によっては、次年度一年間限定で例会数を見直すとか、会費を見直すとか、例会の開催方法を見直すとか、優先順位で奉仕活動を限定するとかいろいろな事が考えられます。是非全会員でお考え頂ければ良い案が出るのではないでしょうか。会合が持てない場合は、次年度の会長幹事様が中心となり検討して頂く事が大切と考えます。そして

大切な私共の仲間を減らさないで下さい

その為には何をする事が必要なのか、真剣にお考え頂きたいと思います。今年度ガバナーとして私がお願いすることでは無いとは分かっていますが、今後の運営の為にも、クラブ次年度の皆様方、真剣にお考え下さい。お願いします。

ロータリー財団より、「新型コロナウイルス対応のための補助金使用について」のメッセージが発信されています。世界でパンデミックを引き起こしている新型コロナウイルスへの対応を支援し、その影響を受けている人びとを助けたいとの主旨で、地区補助金を活用することが出来るようになりました。 クラブは地区補助金を活用して、地元の医療従事者に寄贈する物資（体温計、医療用防護、空気清浄機、その他の物資）の購入といった地元の活動を支援できます。地区はさらに、未完了の地区補助金からの臨時費を利用したり、以前に計画していた活動を新型コロナウイルス対応のためにも使うこともできますので、各クラブで検討してみてください。

歴史的に残る2019－20年度となりました。何より早い終息が望まれますが、今の状況では長期化する様子が伺えます。危機管理委員会にて６月年度末までの会合、行事を開催することはできないとの判断に至り、一部を除きすべてのロータリー行事を「中止」とすることにしました。７月以降も、齋藤ガバナー年度が予定通りスタート出来ない事も考えられます。状況を判断しながら、日々対応していきます。年度末が近いのですが、今年度と次年度、齋藤ガバナーエレクトと共に二人でこの間の対応をして行きます。ロータリー会員の皆様方、ロータリーファミリーの皆様方、十分にご注意ください。３密（密集、密閉、密接）は厳禁です。ご自分の命を大切にしてください。最大限に注意を払い行動してください。お願いします。今後もロータリーファミリーの安全を第一に、コロナウイルス対応を進めて参ります。間違い無く人類はコロナウイルスに勝利すると私は信じています。そして終息後の社会で、ロータリアン皆様方と共に新たな活動を進めて行きたいと考えています。今は耐える時です。しっかりと安全の確保をお願いします。

CONVID-19（新型コロナウィルス）への対応
「全国緊急事態宣言」に対応しましょう

全国緊急事態宣言が発令されました。山形県内感染者数も、残念ながら増加傾向で、拡大防止には繋がっていない状況です。８割の人との接触を削減することを要請されています。是非会員の皆様方も、８割削減の意味をよく理解し、一人一人が努力することが大切です。宜しくお願いします。

多くのクラブが休会と思います。しかしこのような時だからもう一度考えてみてください。

①　リーダーシップを発揮しましょう!!

ロータリーの「中核的価値観」は５つあります。「奉仕」「親睦」「多様性」「高潔性」「リーダーシップ」です。特にこの様な緊急事態に直面した場合、最も大切な価値観は「リーダーシップ」です。奉仕活動を実践するロータリー活動ではありますが、この様な企業が、社会が危機的状態になった時こそ、各会員の専門分野でリーターシップを発揮し、考え、何が必要かを実践することが大切と思います。そして必要な時に必要な判断を求められます。間違った判断は危機的状況を加速させてしまいます。判断力も求められます。是非2800地区の全会員の皆様方が、ご自分の仕事の中で、リーダーシップを発揮され、仕事分野においてリーダーとして、社員を、関係する方々を導いて頂きたいと思います。ロータリー活動で得た知識と技量を発揮する時です。是非実践してください。

②　感染拡大防止に率先して実行しましょう!!

緊急事態宣言が発令されてからの東北６県駅前の人の減少率が出ました。残念ながら山形県は最下位より一つ上の状況でした。政府が、山形県知事が、山形市長が「外出自粛」を呼び掛けているにも関わらず、人の通りが削減出来ていない事は、自覚が足りないのではないかと思います。テレビでは多くの医療関係の専門家が出演し、感染防止対策を語っておられます。「マスクの着用」「アルコール消毒」「手洗い」などは感染防止対策の基本となるものです。ロータリー会員が率先して実行し、外出自粛を関係企業の社員の皆様方、地域の皆様方に呼び掛けましょう。自分が・・・の考え方は間違っています。他人を思いやる心が大切です。ご自身の行動が他人にコロナ感染という現実を与えてしまうかも知れません。先ずはご自身の考え方を正し、リーダーシップを発揮され、感染防止に努めましょう。お願いいたします。

③　柔軟なクラブ運営をお願いします!!

先ずは安全が最優先です。安全確保をお願いします。そしてクラブ運営は、各クラブの会長の手腕にかかっています。自主権を持つロータリークラブ、各クラブの会長のリーダーシップにより、会員相互の情報交換をしっかりとお願いします。「休会だから何もしなくても良い」は間違いです。休会の時だからこそ、会長のリーダーシップが問われます。あるクラブでは「毎週会長メッセージ、幹事報告」を発信しているクラブもあります。またあるクラブではLINEを活用して全会員とオンラインでつないで情報共有しているクラブもあります。またあるクラブではZOOMにチャレンジしているクラブもあります。この様な時だからこそ、様々なアイデアを駆使して、会長として会員間の情報交換、情報共有、そしてコロナ対策として助け合うことが出来るか、実践することが大切です。是非オンラインを十分に活用してください。オンラインが出来ない場合はFAXでも良いでしょう。会長のリーダーシップが問われています。是非チャレンジしましょう。

④　My ROTARYへの登録をしましょう!!

例会の無いこの様な時期だからこそ、全会員皆様方でMy ROTARYへの登録にチャレンジしましょう。2800地区の登録率は残念ながら非常に低い位置に居ます。是非会員の皆様方、ご自分のパソコンで、チャレンジしてください。分からない場合は地区事務局にご一報ください。また、クラブ内で登録済みの会員の皆様方はサポート願います。各ロータリークラブ会長・幹事の皆様方は当然登録されています。会長・幹事の皆様方にお聞きになってください。しっかりとサポート頂きますようお願いします。この時期に会員全員の登録を目指しましょう。

⑤　地区事務局テレワーク実施へ

コロナウイルス感染予防対策として、地区事務局をテレワーク在宅勤務としました。菅野さん宅はnet環境もありますので、対応可能と判断し在宅勤務としました。電話は転送扱いで対応しております。しかし、FAX対応することが困難でした。FAX確認と、郵便物確認の為に事務所に立ち寄りをお願いし対応頂いています。会員皆様方にお願いです。出来るだけメールにて問い合わせお願いします。FAXの場合は時間的遅れが発生しますので、メールの活用をお願いします。また地区事務局では現在オンライン会議にてスタッフ間の情報交換を行っています。事務局、ガバナー、地区幹事等地区スタッフ間は出来るだけオンライン会議で対応しています。是非各委員会の皆様方も、オンライン委員会にチャレンジ頂ければと思います。こんな時だからこそ、オンライン会議が成功して意見交

換できた時の達成感は大きなものがあると思います。チャレンジしましょう。

⑥　ロータリーの友は合併号に

ロータリーの友事務所は現在全職員が在宅勤務となっています。この体制で５月号は定時に発行出来ない状況でした。６月号との合併号として６月第２週に発行する旨連絡がありましたのでご連絡申し上げます。

コロンウイルスの影響がどれだけ社会に、企業に、そして人々の生活に、心に影響を与えているか計り知れません。感染が拡大する中、最前線で対応頂いています医療従事者の皆様方には、本当に心より感謝申し上げます。大変でしょうけど、県民の命を守るためにも、努力を続けて頂きたいと思います。ガバナーとして、医療従事者に対して何か出来ないか、毎日模索しています。医療従事者の負担を軽減するためにも、私共ロータリー会員は率先して外出自粛を行い、関係する皆様方に呼びかけ、社員に、家族に大きな輪を広げ、県民が外出自粛を守るよう呼び掛けて行きましょう。

こんな時だからこそ、ロータリー精神で、リーターシップを発揮しましょう。

地域社会に各会員の職業奉仕で貢献をしましょう！！

元気なクラブづくりのために　一歩前に踏み出しましょう
特別月間「青少年奉仕月間」

５月は「青少年奉仕月間」です。年度終了まで２ヶ月となりました。年度内に予定していました２つの青少年関係の全国大会が、中止となってしまいました。４月開催予定の「第８回全国インターアクト研究会」、５月開催予定の「第25回日本青少年交換研究会・山形会議」、共に新型コロナウイルスの影響で、参加関係者の安全を第一に考え中止となりました。しかし、インターアクト研究会について、全国のインターアクト活動報告が必要ですので、記録誌は作成することにしました。多くのロータリー行事が６月年度末までは中止になり、各クラブの皆様方も色々と大変な事と思います。是非、ロータリーファミリーの安全を第一にお考え頂きます様お願い申し上げます。

ロータリーにおける青少年との活動の歴史は、多くのクラブが「Boy's Week（少年週間）」という国際行事に参加していた1920年代までに遡ります。ロータリーにおける青少年のための活動は、1920年５月、ニューヨーク・ロータリー・クラブが地元団体と協力して行ったBoy's Weekを初の行事として始まりました。教育、市民、衛生、職業の分野で青少年の育成を促すためのこのイベントは大成功。1920年ロータリー国際大会で成功が報告されると、数年前に結成された活動委員会とともにBoy's Weekプログラムが始まりました。ロータリークラブはこのプログラムで、地元の青少年がよき市民となるよう、少年非行、不登校、不健康を防ぐ活動に取り組むようになりました。以来さまざまな変遷が行われ、1954年、RI理事会はBoys and Girls' Week週間への公式参加中止を決定しましたが、地元青少年のための奉仕をその後も続けるようクラブに奨励しました。ロータリーは後に、インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年交換といった青少年や若者のためのプログラムを創設しています。　2010年、新世代奉仕がロータリーの第５奉仕部門となりました。指導力育成活動、地元や海外での奉仕プロジェクト、交換プログラムといった活動を通じて若い人々に素晴らしい経験の機会を提供し、世界平和と異文化理解が実現されるよう、ロータリアンは現在も活動を続けています。

ここで青少年奉仕関係の代表的なプログラムを考えてみましょう。今日のリーダーの大切な役割は、明日のリーダーを育てることです。ロータリーには、インターアクト（12～18歳）、ローターアクト（18～30歳）、交換留学、リーダーシップ養成など、未来を担う若者のエンパワメントをめざす数々のプログラムがあります。そして私が参加した昨年の国際協議会には、初めてローターアクト会員が世界中より60名参加し、同じテーブルで研修を受けました。昨年の規定審議会では、ローターアクトクラブも国際ロータリーに加盟する事が出来ると修正案が可決されました。つまりローターアクトクラブとロータリークラブが国際ロータリーの会員となる事が出来るのです。これは国際ロータリーがローターアクトに大変な期待を寄せているからだと思います。今年の国際協議会にもローターアクト会員が参加しました。指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものであります。青少年と共に一歩前に踏み出しましょう。次世代の為に「ロータリーの木」の苗木を植える時です。宜しくお願いします。

災禍の中、地区の方針を提示

国際ロータリー第2800地区
2019-20年度ガバナーエレクト　齋藤　榮助

第2800地区ロータリアンの皆様におかれましては､「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）」が蔓延する中で、健康被害や経済悪化など大変なご心労の日々を過ごされておられると推察致します。尚、この厳しい状況にも拘わらず、日々、ロータリーを支えて戴いている事に心から敬意を申し上げます。

世界最先端の産業・技術を持つ我が国が、マスクや消毒液不足で市民生活がこんなに脆くなるとは誰が想像したでしょう。“社会の在り方”を、多方面から見直しをすべきです。

このような状況を受け、皆様方の安全を第一に考慮し、６月開催予定の「地区研修・協議会」は、断腸の思いで中止することに決定致しました。ご理解とご了承をお願い致します。５月中旬までに各クラブに地区研修・協議会の資料を配布しますので、新年度の活動にお役立て下さい。（地区研修・協議会の資料および年次計画書用データは、地区ホームページよりダウンロードできるよう手配しております。）

会長エレクトの皆様におかれましては、新年度のクラブ運営に大変苦慮されている事と存じます。しかし、ロータリーでは何事も各クラブが主体的に計画を立て実行できますので、知恵を出し会って自クラブに合う運営を行って下されば幸いです。素晴らしい知恵は逆境のなかでこそ見出せます。各クラブのご盛会を心よりご期待申し上げます。

各クラブが計画を立てるには、地区行事との兼ね合いが出てきますので、地区の具体的な方向性と方針を以下の通りお伝え致します。

RI2800地区のロータリアンの皆様に強くお願したい事があります。大久保ガバナーも私も「退会者が増大しなければ良いが…」と強く懸念し、ロータリー活動の弱体化を危惧しています。現状の難儀を承知しながらも、クラブ内皆様の信頼と友情のご努力を尽くし、退会を望まれている方極力少なくして戴きたいと切に願っております。最後に、何よりもロータリアン皆様の健康が一番です。皆様のご健勝を心よりお祈り致し、元気にお会い出来る事を楽しみにしております。

2020年4月18日

具体的な方向性と方針

1．“公式訪問”は、現段階では各クラブの例会開催事態が不確定ですので、例会開催日が決定次第、相談及び調整の上、地区内49クラブ全てを訪問させて戴きます。

2．第2800地区大会は、10月17 ～ 18日に向けて準備を進めております。
しかし、万が一を考慮し予備日として、翌年の令和３年６月４日（金）５日（土）を予定しております。

3．全国RYLA研究会山形大会は来春予定していますが、全国組織の判断に従います。

4．青少年奉仕委員会の活動は、ロータリアン以外も参加されますので慎重に進めて参ります。
インターアクトは、高校の授業が大幅に遅れている現状を鑑み、20 ～ 21年度内は中止致します。
- ローターアクトはRACの計画が出てから対応を検討致します。
- RYLAは前期12月迄の活動は中止致します。
- 青少年交換はRIの重要なプログラムですが、国内外の情勢を鑑み、残念ながら20 ～ 21年度内での交換は中止と致します。状況を見ながらにはなりますが、21 ～ 22年度の派遣に向け、交換学生の募集を９月～ 10月に行なう予定です。

5．米山奨学事業は、粛々と進めて参ります。但しオリエンテーション等は、オンライン会議などを利用した安全な方法で進めて参ります。

6．地区補助金を活用した各クラブの奉仕プロジェクトは計画通り進めて下さい。市民を巻き込きこんでの催しは、安全には充分な注意をお願い致します。この企画年度内での延期開催は構いません。中止を余儀なくされる場合は、新しいプロジェクトを立案しプロジェクトを変更することも可能です。但し、実施に先立ちロータリー財団から事前に承認を得る必要がありますので、速やかに地区事務局へご連絡の上、新企画書をご提出ください。地区補助金の目的外支出は認められておりませんのでご注意をお願い致します。

7．「クラブ奉仕」「会員増強」「職業奉仕」「地域奉仕」の地区活動は、各委員長判断のもとで開催するか或いはオンライン会議の利用をお勧め致します。

8．この大きな災禍を教訓とし、また機会と捉え、地区やクラブ内で情報交換や会議など活用するように、ITツールを利用した“オンライン化”を推進して参ります。

9．「各種のハラスメント」は充分に注意をすべきです。危機管理や対応の研修を開催し、何が問題なのか、どう対処するかを知る事で、トラブルを事前に回避する事が出来ます。

10．「30周年記念誌」を作成したいと考えております。2800地区は2530地区から分割し、設立されてから30周年になります。

エレクト年度の現況

RI2800地区　2020-2021年度地区幹事　羽生　吉弘（米沢中央RC）

2800地区ロータリアンの皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年は誰もが経験した事のない積雪０（米沢）の冬を過ごしました。

又、今は全世界に猛威を振るっております新型コロナウイルスの蔓延で学校休校、外出自粛、オリンピックの１年延期、更には全都道府県に緊急事態宣言が発令される等全国民の生活、経済界に甚大な影響を及ぼしております。

さて、齋藤エレクト年度では第一回、第二回地区チーム研修セミナー、PETSを終了し４月18日予定の地区研修・協議会に向けて準備をして参りましたが、新型コロナウイルスの発症により６月14日に延期する事でご案内を致しましたが、暫く山形県には感染者が出て居りませんでしたが、米沢をはじめ県内にも広まり、先の見えない状況になってきました。

準備委員会としましては再三の打合せを重ねて参りましたが、その準備すらできない状況になりました。

４月17日のエレクト年度三役、地区研修・協議会実行委員長、地区大会実行委員長、クラブ会長会に於いて地区研修・協議会は中止、地区大会は状況により令和３年６月４・５日の予定で延期検討するに至りました。

2800地区は勿論全国・全世界のロータリークラブ活動が停止状態にあると思われます。

エレクト年度の情報につきましては都度メール等で発信させて頂きますので宜しくお願い致します。

緊急事態宣言の中クラブ会員との交流もままなりませんが、次年度の基本の考え方であります「４つのテスト」を職場や家庭で実践し自分の健康は自分で守るを念頭に、必ず訪れる明るい未来に希望をもって今の苦境を乗り越えなければならないと思っています。

最後に感染された全ての皆様方の早期の回復をお祈りし、大久保年度から齋藤年度へのバトンが最善の形で引き継がれる事を願います。

事務方として留意したこと

RI2800地区2020-2021年度
統括副幹事事務局長　吉澤　彰浩（米沢中央RC）

ガバナーエレクト（以下、GE）当該年度の統括副幹事事務局長という立場は、本来であれば裏方に徹すべきだと考えます。しかし、本年初頭より蔓延した一世紀に一度の疫病によりRI2800地区事業も大幅に変更を余儀無くされ、その場に立ち会えた者として後世に残すべく寄稿をさせて頂きます。予定通り遂行できた事業とそうでない事業、また、その場合の留意点をお伝え申し上げます。

12月開催のGE年度第一回地区チーム研修セミナー及びGEの国際協議会出発歓送会は、地区スタッフの最初の顔合わせも兼ねております。この時点では、国際ロータリー会長の方針はまだ不明であるとともに、RI規定にも実際には明記されていない会議ゆえ、齋藤GEのお披露目的な意味合いも強かったように感じます。多少、不備もあり次回へのステップとして学習できた事業でした。

２月初旬開催の第二回地区チーム研修セミナーは、GEが国際協議会での研修を経て、RIの方針を地区スタッフに伝える会議になります。国際協議会からこの会議までの日にちも短く、資料作成は昼夜問わずになります。テーマ・マークの発表や日本国内のガバナー会で作成された次期RI会長のメッセージPVを流すことで雰囲気がRIらしくなって参ります。同２月中旬開催のPETS（クラブ会長エレクト研修セミナー）では、いよいよ地区内のクラブ会長にRIと地区の方針を伝える会議になります。RIの理念や方向性は、地区スタッフの小さな輪から、ガバナー補佐のお力添えを頂き、段々と大きな輪になっていくことを実感できていく会議になります。

その後、地区研修・協議会開催の準備や案内発送の段階で疫病蔓延の影響を受けることになります。各事業が全て延期や中止に。延期の場合でも準備は粛々と進めて参ります。留意点としては、「危機管理の要諦は最悪を想定し起こらず」という安全保障の基本を踏まえ、場当たり的にならないよう準備をしております。具体的には、予定通り延期で開催できた場合のＡプラン。開催不可能の場合のＢプラン（Ｃプラン）と２～３通りを想定致しました。時間軸としての決断日は開催日からの逆算方式です。まだ、ガバナー当該年度にも突入してもいない段階ではありますが、地区内のロータリアンの皆様に、ガバナーの思いを100％届けられる様に奮闘して参る所存です。

最後に、敬愛してやまないRI2800地区諸先輩方の近くで、入会間もない自分に多くの学びの場を与えて頂いたことに感謝を申し上げます。疫病の災禍の中、自身ロータリアンとして活動する上で次の言葉を心に刻みたいと思います。「もし世界最期の日が明日であっても私はリンゴの樹を植える（マルティン・ルター）」。大久保ガバナー年度に最大の敬意を表して。

『地区RA代表年度に向けて』

国際ロータリー第2800地区
地区RA代表エレクト　板垣　沙織

ロータリークラブの皆様には日頃よりローターアクト活動にご尽力いただきまして誠にありがとうございます。

ローターアクトについて…提唱クラブや共に活動したことがある会員の皆様はご存じかと思いますが、関わったことのない会員の皆様にはあまり知られていない現状です。ローターアクトはロータリー青少年奉仕プログラムの１つで18歳から30歳までの青年男女が地域社会と共に、あるときはロータリークラブの皆様と共に奉仕をしながら友情や仕事の輪を広げ、リーダーシップや職業スキルを磨き、楽しみながら奉仕活動をしております。地区内では地域社会基盤の酒田RAC、鶴岡RAC、山形RAC、米沢RAC、南陽東RAC、大学基盤の東北文教大学RACの６クラブ総勢30名で活動しております。

７月からローターアクトが大きく変わります。ローターアクトクラブは「プログラム」からロータリークラブ同様１つの「クラブ」となり、18歳以上の全ての若い成人が入会できるようになります。（詳細はMY ROTARY「ローターアクトの方針に関する最近の変更について」記載）

ホルガー・クナークRI会長エレクトは「変化に柔軟に対応することが大切」とおっしゃっておりました。「変化」と聞くと不安もありますが、活動の幅が広がったり、年齢の上限が撤廃されたので自分で卒会のタイミングを決めることができたり…と良いこともたくさんあるため、柔軟に対応し、皆が楽しみながら活動していけたらと思います。

次年度を迎えるにあたり、皆様にお願いがございます。

① 従業員で18歳以上のローターアクト会員候補がいればご紹介くださいませ。

私は５年前、企業派遣という形でローターアクトクラブに入会しました。様々なつながりができ、人前で話す機会も多くいただき、とても成長できる場です。ぜひ、若い従業員に機会を与えることをして下さい。

② 私たちローターアクトも一緒にできる活動があればぜひお声かけくださいませ。

ローターアクトを知っていただく上で、一緒に活動することが一番良いかと思います。清掃活動、地域社会の方々との活動など何でも大歓迎です。私たちも喜んで活動させていただきます。

新型コロナウイルスにより、思うように活動することが難しい中ではございますが、会員たちとアイディアを出し合い、７月から始まる代表年度、齋藤ガバナーエレクトと共にロータリーとローターアクト、協力し合いながら進んでいきたいと思いますので、次年度も引き続きご指導ご鞭撻賜りますようよろしくお願いいたします。

『新しい例会のカタチ』

鶴岡RAC会長　板垣　沙織

今年度も残すところ２か月となりました。新型コロナウイルスの影響により、思うように活動ができない日々が続いております。皆が集まっての例会は今後しばらく難しいと考え、鶴岡ローターアクトクラブではZoomというアプリを使用したオンライン例会を行っております。ZoomとはPCやスマートフォンを使ってセミナーやミーティングをオンラインで開催するために開発されたアプリです。使い方は①アプリの登録　②主催者が新規のミーティングを開始　③主催者が参加者を招待　④参加者は送られてきたミーティングIDを打ち込みミーティングに参加　という流れで、とても簡単でわかりやすいです。無料版だと40分という接続時間の制限がございますが、画面の共有もでき、とても便利です。会員がそれぞれの自宅にいて例会に参加できるので参加しやすいという意見も多く聞こえてきます。オンラインということでメークアップしやすいという利点もございます。実際、友好地区からもメークアップの問い合わせがございます。何より直接会うことが難しい状況でも画面越しにクラブ会員の顔を見ると元気がもらえます。皆様も「休会」の決断の前に、ぜひ「オンライン例会」を検討してみてください。

思うように活動ができなく辛い時期ではありますが、それを逆手にとって、改めて例会の在り方や形であったり新たな方法であったりを考える貴重な機会と思い、今私たちにできることを考えながら１人のローターアクターとして、そして１人の行動人としてアクションを起こしていきたいと思います。

読書の推進により愛と善意の心を育む

第2800地区　高畠ロータリークラブ・山形県

子ども達の活字離れが言われて久しい。大学の授業で教壇に立つ先生が「もはや授業崩壊、学生達は私語を交わし、講義を聞かず、ましてや本など読まない。教壇に立って無力感を覚える」と言っていた。

パソコン、スマホ等々の急速なIT機器の進展が教育現場の環境を大きく変えた。

私達の生活でも手紙を書く習慣も含め、読み・書くという習慣は減り、活字離れが加速している。昨年末の文科省の学力調査発表によると、日本の子ども達の読解力は先進国の中でも劣ると発表された。

高畠町は東洋のアンデルセンと言われた童話作家、浜田広介の生誕の地であり「童話の里」を掲げ、学校・地域を挙げて良い本を読む環境づくりに努めている。

21世紀の主役となる子ども達の豊かな人間形成のために読書の推進は欠かせない。私たち高畠ロータリークラブは長年にわたり町の小学校に図書を寄贈し、各学校の図書館には「贈高畠ロータリークラブ」のコーナーがあり児童の憩いの場となっている。

今年は浜田広介記念館30周年記念事業に出版された「ひろすけ童話セット」を新入生全員に入学祝として、併せて町内の学童保育所に寄贈しました。

子どもの活字離れは私たちの責任であり、心豊かな人間の育成とコミュニケーションの力を育成するために、いま読書運動は大切である。

21世紀の主役を担う子ども達が読書を糧に愛と善意と確かな判断力を身につけて将来に立ち向かう姿を期待しつつ。

このメッセージは３月15日に届いたもので、国際大会中止以前のものです。

新型コロナウイルスとの闘いにおけるロータリーの役割

2019－2020年度国際ロータリー会長　マーク・ダニエル・マローニー
2020－2021年度国際ロータリー会長　ホルガー・クナーク

現在、新型コロナウイルス（COVID-19）が私たちの生活のあらゆる側面にリアルタイムで影響を及ぼしており、ロータリアンは通常とは異なる事態に直面しています。「世界を変える行動人」として自由に動き、会合を開き、支援の手を差し伸べて世界に関与できることが最善の状態ではありますが、目下の状況では、一緒に学び、成長し、そして奉仕することが非常に困難となっています。

リーダーシップが求められる今日、私たちは地域社会のリーダーとなっており、多くの点において今こそ私たちが必要とされるときとなります。私たちはこれまで、助けを必要としている人びとに迅速に支援を提供するため、行動し、協力する能力を証明してきました。それはまさに、現在の世界で必要とされているスキルです。新型コロナウイルスに対する世界的な取り組みは各国での行動にかかっており、ロータリーには、すべての国と地域社会で、それらの行動を前進させるための能力が備わっています。

ロータリアンは、ロータリークラブ、ローターアクター、インターアクターと協力し、あらゆる技術を駆使して大きなプロジェクトに取り組むことができます。実際、保健当局が必要とされる情報を伝えたり、必要な機器や支援を提供したりする際に、ロータリークラブが力となる例が数多くあります。

ロータリー会長、そして会長エレクトとして、私たちは今後のロータリー行事に関して極めて真剣に検討を行ってきました。ご存じかもしれませんが、私たちは国連との協力関係に焦点を置いた二つの会長主催会議（それぞれパリとローマが開催地）を中止するという困難な決定を下しました。また、ロータリー地区とクラブには、国や地元の保健当局の勧告に従って、近く開催予定の会合や行事を中止または延期することを推奨しております。

この困難な状況において、すでに多くのクラブや地区が、テクノロジーを賢明に駆使し、それぞれの地域社会でリーダーシップを発揮する機会を見出しています。例として、イタリアのＥクラブは新型コロナウイルスへの認識向上を目的としたオンラインセッションをライブ発信し、台湾のクラブは企業や薬剤協会と連携して手の消毒液ボトル1600本を基隆市に提供し、スリランカでは保健推進局によるウイルス対策メッセージの配信を援助するため複数クラブがソフトウェアとハードウェアのアップグレードを支援しています。

ウイルスの状況が今後どのような経路をたどるのかはまだ分かりません。私たちは、保健システムによる課題への対応を可能にするために、短期的に症例数を減らすための役割を果たすことができるでしょう。もし世界の力を集結して現況の制御に役立つことができれば、願わくば、ホノルルで開催される2020年ロータリー国際大会で、私たちの中核的価値観をあらためて心に刻むことができることでしょう。そこで私たちが共に過ごす時間は、これまで以上に大きな意味と目的をもつことでしょう。

すべての参加者の安全を確保するため、６月の国際大会の計画を今後も綿密に検討していくことをご承知おきください。世界保健機関（WHO）や米国疾病対策センター（CDC）など、世界で最も信頼される情報源を注視しつつ、皆さまと皆さまのご家族が大会参加に関して何が最善であるかを決定できるようにしたいと考えております。

今は、「ロータリーは世界をつなぐ」のテーマを革新的な方法で示す機会となります。また、私たちはWHOと地元保健当局の勧告に注意深く従うべきであり、それには、感染を引き起こしうる不必要な接触を減らすためにクラブの行事や会合を中止することも含まれます。私たちが注力できることは、恵まれない境遇にある人びとが孤立や不安に対応できるよう支援し、保健当局が現況に対処できるよう支援するなど、各地域社会での活動となるでしょう。

私たちはリアルタイムでこの状況に対応しています。最新情報は、rotary.orgの新型コロナウイルス関連ページをご参照ください。

私たちのほぼ全員にとって、これは前例のない挑戦です。しかし同時に、人びとと地域社会を導き、世界を良い方向へと導くための意義ある新しい方法を見つける機会ともなります。

私たちは、地元と世界中で地域社会を守り、かつ強化するために多くを実現する団体の一員であることを、かつてないほどに誇りとすることができるでしょう。

心を込めて

── 新型コロナウイルス対応のための補助金使用について ──

地区ロータリー財団委員長および地区補助金小委員会委員長各位

補助金担当ディレクター　アビー・マクニア

奉仕を大切にするロータリー会員は、世界でパンデミックを引き起こしている新型コロナウイルスへの対応を支援し、その影響を受けている人びとを助けたいと感じています。ロータリー財団は、地元や海外の人びとを守り、助けるためにロータリアンが活用できるいくつかの選択肢を提供しています。

地区補助金

地区は地区補助金の資金を活用して、地元の医療従事者に寄贈する物資（体温計、医療用防具、その他の物資）の購入といった地元の活動を支援できます。地区はさらに、未完了の地区補助金からの臨時費を利用したり、以前に計画していた活動を新型コロナウイルス対応のために使うこともできます。

2020-21年度の新しい地区補助金申請書を提出する準備を地区で進めていると思いますが、資金を新型コロナウイルス対応に配分することを財団は奨励しております。１度限りの例外として、財団は、新型コロナウイルスと関連して2020年３月15日以降に発生した費用を、2020-21年度地区補助金を通じて賄うことを認めます。

災害救援補助金およびロータリー災害救援基金

ロータリーの災害救援補助金は、地元での災害に対応するための迅速かつ効果的な方法です。ロータリー財団は最近、これらの補助金の使用が認められる活動のリストに、新型コロナウイルス関連プロジェクトを追加しました。各地区は、新型コロナウイルスへの対応を目的として、25,000ドルを上限として１口の補助金を申請できます（ただし基金の残額状況に基づきます）。

災害救援補助金は、災害に対応する世界中の地区を支援するため、ロータリー災害救援基金への寄付によって賄われています。この基金へのご寄付は、オンライン寄付とDDFで受け付けています。地区は、災害救援基金に寄贈するDDFを、新型コロナウイルス対応の補助金活動だけのために使用するよう指定することができます。現金寄付は、新型コロナウイルスを含む、災害対応全般のために活用されます。

グローバル補助金

グローバル補助金は、地域社会に変化をもたらすための優れた方法です。新型コロナウイルスに効果的に対応するために医療物資が必要とされている場合、グローバル補助金でそれらの購入を援助できます。財団は、新型コロナウイルスに取り組むための新規のグローバル補助金について、実施国外からの資金を30％とする要件を適用しないこととなりました。

ご質問がありましたら補助金担当職員までご連絡ください。現在のような困難な状況の中、世界でよいことをするロータリアンをサポートするための皆さまのご尽力に心より感謝申し上げます。

よろしくお願いいたします。

オンラインミーティングのご紹介

マーク・マローニーRI会長より、ロータリーファミリーの皆様へメッセージが送信されております。また、弊局よりも、オンラインミーティングのご紹介を含めましたメッセージをお送りさせて頂きます。

マーク・マローニーRI会長のメッセージ
https://www.youtube.com/watch?v=RaRSAxY6v4M&t=4s

クラブ・地区支援室より
https://1drv.ms/v/s!Am5vZ-rEzAfokySQfbav2Tw8_SUQ?e=utBn29

ロータリーボイス－新型コロナウイルス流行の中でロータリーに参加しつづける方法
https://bit.ly/3atufIQ

ロータリーグローバルリワード（オンラインミーティングツール『Zoom』の割引）
https://my.rotary.org/ja/member-center/rotary-global-rewards/offers#/offers/featured

皆さま、くれぐれもご自愛専一でお過ごしください。引き続きよろしくお願い致します。

国際ロータリー日本事務局｜クラブ・地区支援室　Tel 03－5439－5800

Monthly Report

青少年交換学生マンスリーレポート

アメリカ便り

齋藤亜優香

報告年月日／ 2020 年 4 月 8 日
派遣地区・国名／ 5190 地区・アメリカ
ホストロータリークラブ名／ Susanville Sunrise Rotary Club

皆さんこんにちは。アメリカに8ヶ月間派遣させていただきました齋藤亜優香です。新型コロナウイルスの影響により2ヶ月程早くの帰国となりましたが、私の交換留学はロータリーの皆さんのおかげでとても充実したものになりました。数々の支援をしていただきありがとうございました。このマンスリーレポートでは3月のアメリカでの生活とコロナウイルスに関する生活環境の変化を報告させていただきます。

3月はフロリダに連れて行っていただきました。ビーチやスカイダイビング、モーターレースやディズニーワールドなど初めての経験や思い出がたくさんできました。私の行きたいところややりたいことを全てかなえてくださったホストファミリーには感謝の気持ちでいっぱいです。

帰国日が決まってから帰国までは3日間しかなかったのですが、当時のホストファミリーと第2ホストファミリーとカウンセラーがお別れ会を開いてくれました。急に決まったことでもう直接感謝を伝えることもできないのかと思っていましたが、帰国前に伝えることができてよかったです。この方々には本当にかわいがっていただいていました。本当に環境に恵まれたなと思っています。

以下、私が体験したコロナウイルスによるアメリカの動きと帰国についてご報告します。

フロリダに向かう際はコロナウイルスの報道が出始めたころでカリフォルニア州にも感染者は出ていたもののかなり離れているところだったので大きな危機感は感じていない状況でした。3月4日にフロリダに移動しましたが、そのときの空港の状況は普段通りでした。到着したフロリダでも感染者は確認されていました。フロリダにいた10日間の間にもどんどん状況は変わっていき、3月13日のホームタウンに帰ってから状況は日に日に変化していきました。テレビではコロナウイルスの報道がどんどん大きくなり、学校では月曜日にコロナの影響で金曜日以降休みになると言われていたのが、次の日登校すると明日から学校は休みになると言われました。そこから外出禁止になり一日中ホストファミリー宅で過ごすようになりました。私のいたスーザンビルがあるラッセン群には感染者は出ていませんでしたが、カリフォルニア州としては先手先手で対策をしていくという状況でした。

私としてはラッセン群に感染者がでていないこと、ホストファミリーにここに居なさいと言っていただいたこと、学校などアメリカの生活がとても充実していたこともあり、留学を延長する意向でいました。しかし、感染が拡大する中でホストファミリーに迷惑をかける可能性が高くなってきたこと、学校の再開時期が未定になったこと、海外との往来が日に日に制限されてきていたこともあり、両親とホストファミリー、カウンセラーに相談し帰国することにしました。一番近い空港はリノタホ空港でしたが、感染の可能性、欠航や出国手続き等に時間がかかる可能性があるとのことでホストファミリーがサンフランシスコ国際空港まで送迎してくれました。欠航する可能性もあったので帰国を決めた次の日にはスーザンビルからサンフランシスコへ移動しました。幸い欠航になることはなく、無事3月25日に帰国することができました。日本では3月26日よりアメリカから入国する際の検閲が厳しくなりましたのでこのタイミングで帰国できて、とても心残りではありますが今はあの判断はよかったのだと思っています。母が自家用車で迎えにきたのでその日自宅に帰ってきて、そこから2週間自主隔離生活を送っています。

ホストファミリーやカウンセラー、学校の友達とは連絡を取り合っており、来年の春ホストファミリーとカウンセラー夫婦が来日する予定となっています。山形にも来てくれる予定なので再会を楽しみに今できることを精一杯行っていきたいと思います。

予定よりも早く切り上げてしまいましたが、留学前から今に至ってもご支援いただいているロータリークラブの皆様の支援にとても感謝しております。世界中の人々が少しでも早く日常の生活に戻れるよう祈っています。

Monthly Report

青少年交換学生マンスリーレポート

台湾便り

渡辺 愛澄

報告年月日／ 2020 年 3 月 30 日
派遣地区・国名／ 3462 地区・台湾
ホストロータリークラブ名／水里社RC

皆さんこんにちは。台湾3462地区に派遣させていただいている渡辺愛澄です。

台湾に来て、約か7月が経ちました。今月は新型肺炎の影響によりロータリー主催のイベントや旅行のキャンセル、IBS仲間の早期帰国などで楽しみだという気持ちがなくなってしまい、別れがありとても複雑な気持ちでとてもつらいです。日にちが経つごとに台湾の感染者数も増えていっています。心配でなりません。学校では毎日の体温測定、スクールバス内でのマスク着用を対策としています。私たち交換学生に対する対応の差別はなく、しっかりとした対応をしていただいております。これからも自分の安全を確保しつつ、毎日のコロナ対策をしっかりしていきたいです。皆さんもお気をつけてお過ごしください。

この約1か月の間で私の誕生日がありました。クラスメイトの皆、学校の先生方や友達、IBSの友達、ホストファミリーの皆さんに祝っていただきました。私にとって初めての海外で過ごした誕生日で、とても嬉しかったし、貴重な経験でとても良い思い出です。とても有難いです。

また、3月に3462地区の中国語演説大会がありました。結果は私と韓国の子の二人で1位を取ることができました。中間的なテストでしたが、1位をとることができて良かったです。これからの中国語の勉強もしっかりとしていきたいです。

今月はホストファミリーチェンジがありました。交換前に第2ホストママの仕事場である草屯中学にPPT紹介をしてきました。多くの子が興味を持って耳を傾けてくれてうれしかったです。そして、今回のホストファミリーはロータリーの会長さんの家族です。以前に何度かお邪魔したことがあったので環境にはすぐ慣れることができました。

学校生活では、学校の紹介ということで同富國中という原住民の子が多くいる中学校にお邪魔してきました。多くの高校が集まって紹介している中で私たちは浴衣、巫女服の姿で紹介をしました。多くの子から憧れるという声をいただきました。そう言ってもらえることがとても嬉しいし、多くの子が日本文化に興味を持ってくれるという面からこの機会に参加することがとてもいいことだなと感じました。これからも機会があった場合は日本、山形、河北町のいいところをたくさん伝えていきたいです。

関わっていただいているすべての方に感謝してこれからも頑張ります！

これからも多くの方々の多くの笑顔と元気を届けます！☺

再見！

2019－2020年度クラブ会員数・出席率一覧

●クラブ数／49クラブ　●会員数／1,590名　●累計出席率／83.47%（2020年３月31日現在）

ブロック	クラブ名	2019年７月１日		2020年３月31日			年初からの増減数				累計出席率
		会員数（女性会員数）		会員数（女性会員数）		出席率	増（女性会員数）		減（女性会員数）		
第1ブロック	酒田	26	(3)	21	(3)	60.32	0	(0)	5	(0)	65.84
	酒田東	33	(5)	34	(5)	73.50	1	(0)	0	(0)	81.09
	酒田中央	43	(0)	44	(0)	75.61	1	(0)	0	(0)	73.24
	酒田スワン	18	(7)	18	(7)	82.35	0	(0)	0	(0)	80.01
	酒田湊	16	(3)	16	(3)	100.00	0	(0)	0	(0)	95.29
第2ブロック	鶴岡	28	(6)	28	(6)	78.57	2	(0)	2	(0)	85.54
	鶴岡西	30	(3)	30	(3)	80.95	0	(0)	0	(0)	77.73
	余目	34	(1)	34	(1)	83.33	1	(0)	1	(0)	79.56
	鶴岡東	25	(1)	28	(2)	84.00	3	(1)	0	(0)	81.22
	鶴岡南	19	(2)	20	(2)	73.68	1	(0)	0	(0)	73.30
第3ブロック	天童	46	(4)	44	(4)	0.00	0	(0)	2	(0)	94.02
	東根	35	(1)	38	(1)	0.00	3	(0)	0	(0)	83.93
	天童東	53	(0)	52	(0)	96.12	1	(0)	2	(0)	85.14
	天童西	15	(3)	15	(3)	85.71	0	(0)	0	(0)	84.13
	東根中央	46	(4)	48	(3)	72.92	3	(0)	1	(1)	74.81
	村山	9	(0)	9	(0)	100.00	0	(0)	0	(0)	100.00
	新庄	13	(2)	15	(2)	76.67	3	(0)	1	(0)	85.67
	尾花沢	18	(0)	18	(0)	83.33	0	(0)	0	(0)	82.50
	最上	23	(2)	23	(2)	56.52	0	(0)	0	(0)	56.47
	尾花沢中央	13	(0)	14	(1)	88.09	1	(1)	0	(0)	91.19
	村山ローズ	18	(5)	17	(5)	76.47	0	(0)	1	(0)	84.31
	新庄あじさい	16	(0)	17	(0)	73.53	1	(0)	0	(0)	82.62
第4ブロック	寒河江	47	(3)	45	(3)	78.75	1	(0)	3	(0)	78.77
	大江	17	(1)	18	(1)	94.02	1	(0)	0	(0)	92.10
	河北	29	(0)	29	(0)	0.00	1	(0)	1	(0)	90.46
	寒河江さくらんぼ	41	(3)	42	(3)	0.00	2	(0)	1	(0)	86.16
	西川月山	13	(0)	13	(0)	100.00	0	(0)	0	(0)	85.78
第5ブロック	山形	89	(1)	89	(1)	98.63	4	(0)	4	(0)	99.60
	山形北	62	(2)	67	(3)	91.02	6	(1)	1	(0)	90.48
	山辺	25	(0)	29	(1)	89.66	4	(1)	0	(0)	90.25
	山形南	56	(2)	56	(2)	77.55	2	(0)	2	(0)	84.03
	中山	11	(0)	13	(0)	92.31	2	(0)	0	(0)	81.28
	山形西	93	(0)	90	(0)	94.43	7	(0)	10	(0)	95.55
	上山	17	(3)	17	(3)	0.00	1	(1)	1	(1)	79.84
	山形東	29	(2)	32	(3)	100.00	3	(1)	0	(0)	99.56
	山形中央	39	(3)	39	(4)	89.36	3	(1)	3	(0)	94.08
	山形イブニング	28	(1)	27	(1)	63.64	1	(0)	2	(0)	63.67
第6ブロック	米沢	56	(7)	55	(8)	63.16	2	(1)	3	(0)	77.60
	米沢上杉	70	(3)	74	(3)	96.62	6	(0)	2	(0)	97.97
	高畠	46	(3)	47	(3)	63.83	2	(0)	1	(0)	70.85
	米沢中央	39	(7)	41	(7)	0.00	2	(0)	0	(0)	99.22
	米沢おしょうしな	30	(4)	30	(4)	78.33	0	(0)	0	(0)	79.47
	長井	26	(0)	25	(0)	78.64	0	(0)	1	(0)	82.60
	南陽	10	(0)	11	(0)	76.82	1	(0)	0	(0)	73.44
	白鷹	19	(0)	18	(0)	83.33	1	(0)	2	(0)	88.69
	小国	17	(0)	17	(0)	85.65	0	(0)	0	(0)	87.65
	南陽東	34	(3)	32	(2)	88.77	1	(0)	3	(1)	78.14
	長井中央	19	(1)	20	(1)	82.50	1	(0)	0	(0)	73.53
	南陽臨雲	30	(2)	31	(3)	62.36	1	(1)	0	(0)	71.59
	合　計	1,569	(103)	1,590	(109)	72.06	76	(9)	55	(3)	83.47

訃報

所属／河北RC
職業分類／建築設備
兼子　昭平様
享年79歳
2020年４月４日ご逝去

青少年交換来日学生が無事帰国しました！

米国・D5190からの来日学生、
サマンサ（Samantha BURNS）さんが
2020年4月11日（土）に米国・カリフォルニアへ
帰国しました。

台湾・D3462からの来日学生、
優（施云筑 Yun-Chu SHIH）さんが
2020年4月28日（火）に台湾へ
帰国しました。

文　庫　通　信[382]

ロータリー文庫通信382号　2020年4月　新型コロナウィルス禍の下で

新型コロナウィルス感染の拡大はロータリー活動に多大な影響を与えています。ハワイでの世界大会は中止となりました。国内においても、PETSや地区大会の中止を余儀なくされました。その中で、特に「幻の講演」となったD2650地区大会RI会長代理の鳥居PDGの「RI現況報告」を掲載します。

また「緊急事態宣言」により、外出の自粛を要請され在宅時間が多くなり、ロータリーについて考える機会が与えられました。そこで今回は、115年を超えるロータリーの歴史の中で、ロータリーの奉仕哲学とその奉仕の実践に関する基本原理を簡明かつ的確に表現している「決議23-34」について、更に、国際ロータリーという組織の本質は何かを考える意味で、2019年規定審議会で事務総長に与えられた「CEO(最高経営責任者)」という名称が何を意味しているかについて、考えていただければと思います。

書　　名	著者／所属クラブ	発行年	頁	※
RI現況報告「ロータリーの変遷と本質」（D2650地区大会　RI会長代理）	鳥居　滋／岡山東RC D.2690 PDG	2020	13P	※
決議23-34はロータリーのキイ・ホイントである　（増補改訂版　関西ロータリー研究会）	末積　正／神戸RC D.268	1987	125P	※
決議23-34　歴史的背景と意味（D2680 職業奉仕講演会）（P.P.T.174枚）	刀根荘兵衛／敦賀RC D.2650 PDG	2018	17P（29P）	※
CEOとして最強の権限を与えられた事務総長（追加資料提供：D2650PDG刀根荘兵衛）	田中　毅／尼崎西RC D.2680 PDG	2020	4P（13P）	※

・上記 ※印はデジタル化されている資料です。

お知らせ

（公財）ロータリー米山記念奨学会ニュース
★ハイライトよねやま241号★　2020年4月14日発行

◀全文は、こちらよりご覧ください。
http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highligh241_pdf.pdf

Schedule of May 2020

5月の地区スケジュール

日	曜	主要な行事	青少年奉仕月間
5/1	金		
2	土		
3	日	（憲法記念日）	
4	月	（みどりの日）	
5	火	（こどもの日）	
6	水	（振替休日）	
7	木		
8	金		
9	土	米山奨学生オリエンテーション＆カウンセラー説明会	
10	日		
11	月		
12	火		
13	水		
14	木		
15	金		
16	土		
17	日		
18	月		
19	火		
20	水		
21	木		
22	金		
23	土		
24	日		
25	月		
26	火		
27	水		
28	木		
29	金		
30	土		
31	日		

上杉まつり（米沢市）

小玉川熊まつり（小国町）

酒田まつり（酒田市）

上野 啓太氏のプロフィール

1960年、東京湯島生まれ。20歳の頃から商業イラストレーターとして、雑誌等で幅広く活躍した。数年前、生まれ育った湯島・本郷の町並みを描き展示会を開いたところ、地元の人々の大きな感動を呼び、NHK をはじめメディアの取材が相次いだ。以後“ふるさと画家”として、そのあたたかいイラストをひと目で好きになるファンが急増中。都内、さらに遠く北は北海道から南は九州まで、全国から「わが街を描いてほしい」という依頼が次々に舞い込むようになった。現在、一般社団法人マーチング委員会の理念に共鳴、マーチング委員会の主要画家として活躍中。

国際ロータリー第2800地区　地区事務局

〒994-0027　山形県天童市桜町2-20

TEL:023-687-0208　FAX:023-687-0209　E-mail：office@rid2800.org

http://www.rid2800.jp/